

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 21 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 胡 之天
指導教員氏名 原田 信行			
報告書題目 株式会社市場と企業価値 (完全子会社化とその効果)			
報告書概要 本研究では、日本製造業企業の M&A における完全子会社化を素材として、完全子会社化が果たす効果について検討した。その中で、事例分析と実証分析の二つ方法を用いて、企業価値の最大化に効果が果たせるかを実証分析した。 ① 完全子会社化を行ったオークマホールディングスの事例を用いて、完全子会社化の実施後には、企業財務業績の改善や資本効率の向上に対して、事業ポートフォリオの最適化にプラス効果が出せるかという点について検討した。 ② また、収益性(ROA,ROS)分析、また効率性(総資産回転率)分析の視点により、2003年～2005年までに完全子会社化を実施した親会社が東証1部に上場21社の財務データを用いて、完全子会社化実施企業の財務業績改善に良い効果与えるかについて実証分析した。 上記の事例分析と実証分析の二つ方法で分析結果以下の通りであった。 ① オークマホールディングスは、完全子会社化を通じて、企業が強固な経営基盤を確立したことに伴い、企業競争力の増強、経営資源の集約、財務業績の改善など経営戦略も実現した。 ② 収益性(ROA,ROS)、効率性(総資産回転率)の実証分析した結果により、完全子会社化実施した企業に対して、企業経営の改善、収益性と資本効率向上に効果が果たせると分かった。 以上の分析により、完全子会社化の実施が、企業経営資源を集中し、シナジーの効果を求めることにより事業ポートフォリオの最適化を通じて、企業価値の最大化の向上に寄与できることが明らかとなった。			
審査日 平成 22 年 2 月 3 日			
審査員	(大学名・職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	Ph.D.in Organizational Behavior	渡辺 真一郎
副査	筑波大学 准教授	Master of Science in Financial Economics	高安 雄一
副査	筑波大学 准教授	博士(理学)	原田 信行